

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	毎月の定例会議時に全スタッフが理念や基本方針の唱和を行い実践に心掛けているが、言動が伴わない場合がある。	ホームの「理念や基本方針」に記載されている内容が意識しなくても実践できるようになる。	問題となる言動が確認された場合は、理念や基本方針に照らし合わせ「何が問題なのか？どこが問題なのか？改善はどのようにすればよいのか」等を個人、そしてホーム全体で話し合いを行う。	12ヶ月
2	19	コロナ禍という事もあり、面会の減少などにより、入居者のご家族との関りが少なくなっている。	様々な場面において、入居者のご家族との関りを深める。	以前のように春のお花見焼き肉会や秋の敬老会などにご家族を招待し、ご家族との関りを深めていく。 また、面会に来られた時などに積極的に関わりを持つ様にする。	6ヶ月
3	6	身体拘束は緊急時や必要時以外には行っていないが、施設の敷地外に出られる方が居られる為、継続的に門扉が閉められている。	終日、門扉が開けられている環境を目指す。	現在は、スタッフ数がギリギリであるため、見守りが十分にできない状況にある。スタッフ数にゆとりができ、十分な見守りが出来るようになれば、門扉を解放する。また落ち着かれない入居者と共に散歩に行くなどの支援を行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。